

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 5 月 31 日(2022.5.31)

【公開番号】特開 2020-93036(P2020-93036A)

【公開日】令和 2 年 6 月 18 日(2020.6.18)

【年通号数】公開・登録公報 2020-024

【出願番号】特願 2019-16689(P2019-16689)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 5 月 23 日(2022.5.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の始動条件の成立を契機として特別情報を取得する取得手段と、
前記取得手段によって取得された前記特別情報に基づいて判定を行う判定手段と、
前記判定手段による判定結果に基づいて、遊技者に所定の遊技価値を付与する遊技機において、

前記判定手段による判定結果に基づいて、遊技者に所定の遊技価値が付与される期待度を
示唆可能な示唆情報による示唆の実行を抽選する示唆情報抽選手段、を備え、

前記示唆情報は、少なくとも、

前記所定の遊技価値が付与される所定の期待度を遊技者に示唆可能な第 1 示唆情報と、前
記第 1 示唆情報より前記所定の遊技価値が付与される期待度が高いことを遊技者に示唆可
能な第 2 示唆情報と、前記第 2 示唆情報より前記所定の遊技価値が付与される期待度が高
いことを遊技者に示唆可能な第 3 示唆情報と、を有し、

30

前記遊技機は、

光を発光する第 1 発光手段と、

光を発光可能であり、前記第 1 発光手段と異なる第 2 発光手段と、を備えている

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

この遊技機では、遊技機前方から視認可能な図柄等を変化可能な表示部や、単色若しくは
発光色を変化可能な複数の発光手段等が設けられており、遊技の進行等に応じて上記発光
手段の表示態様を変化させることで、遊技中の演出効果を高めるように構成されている（
例えば、特許文献 1）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

このような遊技機に対して、遊技の興趣向上のために、上記発光手段の演出効果を高めることで遊技への注目度を高める必要があり、この点について未だ改良の余地がある。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

10

【0007】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、所定の始動条件の成立を契機として特別情報を取得する取得手段と、前記取得手段によって取得された前記特別情報に基づいて判定を行う判定手段と、前記判定手段による判定結果に基づいて、遊技者に所定の遊技価値を付与する遊技機であって、前記判定手段による判定結果に基づいて、遊技者に所定の遊技価値が付与される期待度を示唆可能な示唆情報による示唆の実行を抽選する示唆情報抽選手段、を備え、前記示唆情報は、少なくとも、前記所定の遊技価値が付与される所定の期待度を遊技者に示唆可能な第1示唆情報と、前記第1示唆情報より前記所定の遊技価値が付与される期待度が高いことを遊技者に示唆可能な第2示唆情報と、前記第2示唆情報より前記所定の遊技価値が付与される期待度が高いことを遊技者に示唆可能な第3示唆情報と、を有し、前記遊技機は、光を発光する第1発光手段と、光を発光可能であり、前記第1発光手段と異なる第2発光手段と、を備えている。

20

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

30

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

40

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

請求項1記載の遊技機によれば、所定の始動条件の成立を契機として特別情報を取得する取得手段と、前記取得手段によって取得された前記特別情報に基づいて判定を行う判定手

50

段と、前記判定手段による判定結果に基づいて、遊技者に所定の遊技価値を付与する遊技機であって、前記判定手段による判定結果に基づいて、遊技者に所定の遊技価値が付与される期待度を示唆可能な示唆情報による示唆の実行を抽選する示唆情報抽選手段、を備え、前記示唆情報は、少なくとも、前記所定の遊技価値が付与される所定の期待度を遊技者に示唆可能な第1示唆情報と、前記第1示唆情報より前記所定の遊技価値が付与される期待度が高いことを遊技者に示唆可能な第2示唆情報と、前記第2示唆情報より前記所定の遊技価値が付与される期待度が高いことを遊技者に示唆可能な第3示唆情報と、を有し、前記遊技機は、光を発光する第1発光手段と、光を発光可能であり、前記第1発光手段と異なる第2発光手段と、を備えている。これにより、遊技への注目度を好適に高めることができる、という効果がある。

10

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

20

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

30

40

50